





▲經綸と沒交渉也▼

雲鵬の地位を如何に分配せんとするか、所謂地盤の研究問題のみ、王は北方の嫌ふべき廣東征討を以て雲貴其他を援助し、之を我勢力範圍にせんとし、張は熱河察哈爾綏遠を我勢力範圍にせんとし、曹は京畿の治安を名とし、中原河南を確保せんとし、三派何れも決すべからざる蘇皖贛巡閱使を如何に決定せんとするか、此が最大問題中の最大問題なるべく、之に政治生活者の眼は注かれ向き／＼によりて三派に馬首を向け天津會議なるものは甚だしく大事あるもの、如く世を駭かし、凡ゆる小事は之が爲めに化せられて其暗黒力事は滅せられたり、之れも三派の相集まりて天下を愚にする枝巧の現象と云ふを妨げざるべし、天津會議が不快極まれる劇觀にして、其國家經綸と交渉する間はすして知るべきのみ

(11)

天津會議の觀察要點は此くの如しとして、天津會議と云ふは徑路に關する報道及開會後今日に至る迄の經緯は述べざるからず、先づ天津會議の真相と稱し報道せらるゝものを舉ぐれば、曹錕は自派の勢力が漸次衰へかく／＼し、爲め其挽回策として張作霖と結び、之が方便として靳、即ち維持し歩を進めたもの、如し、即ち最近王占元の地位頗みに昂上し、恰かも往年の馮國璋、李純の得たる

を出し、交通部の収入を担保とし、國庫債券五百萬元を發行して、軍費とす。(二)内閣問題は靳總理を擁護し、閣員を選定は新に一任す。(三)孫文逮捕令を發す。(四)選舉問題は三人聯名の通電を發し、新國會の速成を計る事と決せる模様なり。」

と傳へたり然るに内閣問題につきては交通系の内閣總長は一時財政に曹汝霖を入れるべしと傳へしが、其後交通系の持直しを傳へたり、即ち「舊交通系一派が葉恭綽を中心として借款成立に焦燥し、此際如何なる形式を以て成立とも三百萬圓以上の金額を調達せざる可からざるは既報の如くなるが最近我が東亞興業會社と三百五十萬圓の經濟借款成立したりと傳へたる、右は交通部發行の國庫債券を担保としたるものにて各種條件未だ確定を見ざるも略は成立の見込あり葉總長の辭職設立消となれば之が爲めにして結局張使に對する責任を果し其際の交換條件として留任すべきなりといふ。」

と報するに至れり但し藩復は極力此事を否認せり、此外會議の内容につきては紛々たるものなるが政府側の消息によれば左の如く決定せりと報せり

(一)軍費 政府直轄の軍隊も其軍費を各地方に負担せしむ

(二)蒙古 蒙古問題は奉直兩派より出兵し適當の時機に於て蒙古と和議を講せん方針なり

津方面重要問題は全く方法なく斬は歸らんと欲するも得ず意極めて懊悶す二十八日の閣議には三總長の出席あり、内閣自身を訂議する甚だ久し其結果各手を經たる事件を遂いで御め並に電話を以て新總理に達し歸京を促せり▲某代表は天津より歸京し湖北省の議席上に於ける對南接洽の爲め病に托して謝客せし天津會議は恐らく結果少かるべく外傳は俱に確ならず」と傳へたり

尙は二十九日附北京電報を以て報せる天津會議と四頭目の動靜に關する報を紹介すべし、以て張勳問題の漸く抬頭し來れる點で分裂の傾向あるを看取するに足るべし

▲曹錕は入京せざるに決したれども王占元は三十日入京すべく、王に隨ひし熊克武の代表、海軍代表等は天津に留まらるべく王入京の時は魏翰浮一人を帶ぶべし

▲天津會議は張と王との調ふ別れたる爲め尙は結果なく斬も從つて歸京せず、惟だ蘇皖贛閩使問題は王士珍辭職し徐は張錫鑾を推薦せりが張作霖賛成せざるも曹未だ同意せず此事は先づ江西に蘇兩督軍打電して其同意を徵せるべからず云ふ、先づ張錕の就くや否やを問ふべしと云へり

▲天津會議は張勳の赴任に對し王占

絕對的西南の霸者たるべく、近くは憤りたりと報せしが、張勳の訪問を六省同盟の實際的盟主として曹錕の受けたるに對しては、民國に忠なる勢力集團の河南、山西、山東地方の其一如の確力を植へる傾向ありと傳へたり、而して斬曹決張罪四頭目之を恐れて張作霖の諒解を得て直奉兩勢力の結合を圖るに至りしに似たりと傳へる、其真相として當を得ざるものなるや、否ざるや、直復兩人間に「天津議事は泰直以上曹錕一人間に」(天津泰報)は泰直以上曹錕一人間に

(三)統一問題 廣東廣西を先づ解決し湖南貴州四川は和平手段を以て北歸せしむ

(四)選舉問題 速かに選舉を行ひ國會を組織し地方自治問題を急解決すべし

然れども、申報に達せる報道によると、



|         |     |     |     |     |     |     |         |       |     |             |      |      |       |       |       |       |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---------|-------|-----|-------------|------|------|-------|-------|-------|-------|
| 上海出帆    | 南陽丸 | 東陽丸 | 瑞陽丸 | 大福丸 | 大貞丸 | 大利丸 | 浦東棧橋ヨリ發 | 上海支店  | 電話  | 上海廣東路十四號及大號 | 浦東棧橋 | 電話   | 漢口宜昌線 | 漢口湘潭線 | 漢口常德線 | 九江南昌線 |
| 郵船棧橋ヨリ發 | 九   | 九   | 九   | 九   | 九   | 九   | 浦東棧橋ヨリ發 | 輸出入客務 | 船客  | 浦東棧橋        | 監督   | 浦東棧橋 | 一ヶ月六回 | 一週二回  | 一週二回  | 一週三回  |
| 四五六     | 四五六 | 四五六 | 四五六 | 四五六 | 四五六 | 四五六 | 四五六     | 四五六   | 四五六 | 四五六         | 一八七四 | 四七四  | 一八七四  | 一八七四  | 一八七四  | 一八七四  |


 石製電硝  
 炭紙銅子  
 鑛物析  
 分柝  
 鑛山  
 調査  
 三菱  
 鑛物  
 分析  
 公司  
 上海廣東路九號



しが大旨は

中國文化の古く文藝の富と東西學識を互換するの重要を説き其の末尾に中國の元首は文學の大家たり、學問を提唱し以て和平を謀るに言明せり於て是が朱專使は徐總統を代表して答詞を致せり、略に曰く

巴里大學が中國元首に授與するの殊榮は甚だ感戴すし中國は獨り其の偉大なる學問を以て西方に貢獻するを願ふのみならず、且つ頭かに西方に就て新科學を求めんとす云々駐佛公使陳鏞も前總理バンルグエーと相繼いで演説せりバンルグエーの言に曰く

佛國と支那の友誼は由來已久し即ち十八世紀の佛國思想家は已に中國の文學と哲學の感化を受く今や徐總統の贊助を以て西方の學士は愈々中國哲學の門徑に接近すべし云々

之を最後として學位授與式は終了告終され茶話會を開き朱專使を招待せり、來賓者五百人を越ゆ大學教職員を除くの外佛博學院會員及び一時の名流前大總理ボアンカレール元帥フォッシュ、元帥フルバ里主事トボア教育部長マラトール等一員も出席し大統領ミランは其の秘書マタン將軍を特派して代表と爲せり

中國公使の參列者は英國駐在の顧維鈞佛國駐在の陳鏞瑞士駐在の汪榮寶白耳蘇駐在の魏德爾蘭國駐在の代理公使郭家驥等佛國大學の名譽博士の學位を次で支那の元首に贈與せしは此を第二次とす第一次の學位贈與を受けたるは米國前大統領ウィルソンに實に唯亞洲文學家の學位を得たるは實に此を以て創舉とす(申報二十三日巴里電)

朱專使が佛國政府より專使としての特遇を受けしは二週間にして四月十六日より同三十一日迄也大統領ミラン夫人は茶話會を開き教育部長マラトールと前總理バンルグエー及び其の他重要人物は各團體に於て其の宴會を開き招待せり朱專使は各大學校各大工廠に赴き參觀し並に科學工藝の發達の地方及び大戰場を遊歴し佛國退去後直ちに倫敦に赴くと、尙は徐總統は二十三日當日佛公使を正賓とし、各國公使及閣員を招待し學位授與に對し祝宴を張りたり

### 京綏線延長借款

▲全額三百萬圓

▲短期公債擔保

東亞興業會社の交通借款問題は既報の如くなるが右は京綏線延長に關するものにして已に兩當事者間に調印済となり一部の前渡金を交付し目下所定延長工事に着手しつゝあり即ち下所定延長工事に着手しつゝあり即ち下所定延長工事に着手しつゝあり

### 地方行政會議

▲五月一日開會說

四月二十三日徐世昌は地方行政會議副議長たるべき遵守靖及び各省委員に謁見せる際、徐は主要左の如く訓詞を述べたり

支那は數十年の古文化國にして愛國愛民の道徳の整ひ所謂民治の精神施設極めて遠深なり、余は前清時代に於て知縣より督撫を経て地方の政治及び人民の疾苦に諳解する所あり諸君亦地方の議員或は行政官たるが故に地方の政治及び人民の疾苦に諳る所あり

駐湖北海軍第二艦隊司令杜錫珪は海軍部の派員及駐廈門練習艦隊司令蔣振亞に二十三日福建より回還せる藍鰲司令と會合し海軍經費給與費の不渡問題に就き討議し、其結果直ちに北上して海軍の窮狀を訴ふることとなりしが、藍鰲總司令の一行は天津に於て張建勳司令の一行は訴ふる所ありたり、と報せられたり然るに舊臘二十八日附の北京電報によれば藍鰲は北京に對し、海軍々費は四個月の久しきに亘りて給與せられず百呼應するなきは政府が必ありて之を死地に置くものなり、將士は身其凌夷を見るを忍びず、必ず救亡する所以の策を籌らざるべからず、海軍軍費は全國陸軍千百の一に過ぎず一旦緩急あらば各方面助を求め、苟くも事なれば之を置いて打合はざる豈に事理の平ならんや、總統の開鑒は萬里に及ぶ此存亡危急の際切實なる方法を立て國中をして又不幸の舉を爲め徐世昌は政府に對して速かに作金し少くとも一個月分を支出し藍に對し打電し艦隊をして靜かに待ち安動せしめざる様にしてすべしと訓じたりと云ふ

### 直隸銀公司問題

▲礦山省有に就て

直隸銀公司反對説は已に報道せしことありしが二十八日の北京電報は外人方面の消息によれば直隸省内の石炭礦に對し優越なる權利を獲得せるに憤慨したる支那人及某々外國資本家は最近相一致して之が反對運動を起し外人方面は自國公使を通じて支那側に抗議を爲さん計畫中の旨を報じ來れり

支那側に抗議を爲さん計畫中の旨を報じ來れりと傳へしが、當地の申報に達せる電報によれば日英兩國の抗議を明白に傳へたり、即ち同電報に曰く、公使團消息によれば日英兩國は直隸礦山を省有に歸せしむ事に對し抗議せんとす云々英米權利と關するなしと雖も各省尤に效へば中央は將に鑛業統治權を失はんとす況んや湖北省に官鑛督辦を設けしは決して全省鑛山を省有とするにあらず直隸省は今既に開掘未開掘の各鑛を省有に歸するは政府の法令に違反し分裂を啓くの漸をなすものなりと云ふ

### 兩廣の形勢

雲南唐繼堯の逃亡以來、廣東の特むべき西南諸省は何れも廣東を相手にせず、全く孤立の状態に陥りたれど、一の轉機を講じ、復辟の謠言を殊更に誇張し、全國の喧嘩を醸成せしめ、之に誘はる孫文を總統に選舉せしむるの舉措に出でしが、天津會議あるや又之を機として總統就任を迫まることとなり、或は延期し

或は實行すと云はれしも、孫の總統被選によりて人望愈地に落ち、多數の督軍省長は天津會議の決議に賛成し二十七日孫文聲明の通電を發するに至れり、かかる形勢なるの政を以て同時に兩廣の戰雲は迫まれるもの如く報せらるに至れり、本月二十三日發の廣東電報は梧州の空に戰雲低送すと稱し、馮自由何天燭等孫文派は敢て近日中梧州攻撃の運びとなるべしと豪語せりと傳へたり、即ち左の如し

馮自由何天燭の談を綜合するに近日急進派民黨が愈梧州攻撃の決心を固めたるは左の如き理由に依るものなり

- 一、廣西軍の彈藥極めて僅少なる事
- 二、廣西省内民軍の内應準備完成せる事
- 三、陳炯明湛浩明の不和に依り軍隊の一致を缺く事
- 四、使用に足るべき武器を有する廣西軍は僅三萬を出でざる事其の内陳炯明の指揮し得る軍隊僅八千を出でず
- 五、陸榮廷既に戰意無く財産を安南方面に運び退去準備を爲し居る事右の如き詳細の情報を得たるを以て以上の形勢よりして一度開戦せば一ヶ月内に梧州を陥れ得べく軍費の如き僅かにて事足るべく一風梧州陥落せば西南各省は廣東に風靡すべしと言ふに在り之即ち孫文部下急進派の代表的開戰意見にして陳炯明派の防禦的出兵説とは趣を異にする所あり又孫逸仙氏は東支那人代表者の爲め僅ふしたる晚餐會席上廣東政府の財政上の困苦を屢述し東外在往支那人より一千萬弗貸附金ありたしと歎願したり然れ共右代表者は此提議

會定め、議長は張一鵬病氣の爲め北上(上海より)する能はざるを以て章宗祥に決定せられたりと報せり、官様の地方行政會議は會議其者の功果を論ずるは野暮にして、政府の救行政策の發露と見ば可なり

江商株式會社

店支海上

號五十五路川北海上

支店 大原

支店 東京、横濱、神戸、大津、青島、漢口、天津、香港、孟買、甲谷院、新嘉坡、泗水、三寶壟、馬辰、棉蘭、巨港、望加錫、馬辰、棉蘭、巨港、望加錫

支店 大阪、中ノ島、神戶、京阪、名古屋、倫敦、紐約

支店 東京、大阪、中ノ島、神戶、京阪、名古屋、倫敦、紐約

支店 東京、大阪、中ノ島、神戶、京阪、名古屋、倫敦、紐約

三菱銀行

上海廣東路九號

資本金 五千萬圓

拂込済 參千萬圓

支店 東京、大阪、中ノ島、神戶、京阪、名古屋、倫敦、紐約

支店 東京、大阪、中ノ島、神戶、京阪、名古屋、倫敦、紐約

支店 東京、大阪、中ノ島、神戶、京阪、名古屋、倫敦、紐約

支店 東京、大阪、中ノ島、神戶、京阪、名古屋、倫敦、紐約

支店 東京、大阪、中ノ島、神戶、京阪、名古屋、倫敦、紐約

支店 東京、大阪、中ノ島、神戶、京阪、名古屋、倫敦、紐約

支店 東京、大阪、中ノ島、神戶、京阪、名古屋、倫敦、紐約

支店 東京、大阪、中ノ島、神戶、京阪、名古屋、倫敦、紐約







清代思想界の變遷

梁 啓 超

仁學の著たるや科學哲學宗教を一爐に其數條を摘録して以て其例とせん嗣に治し以て人生の用に適せしめんとせり真に大膽にして極めて遼遠なる計畫と謂はざる可らず吾輩此計畫に對し敢て其成敗の無望を謂はざるも全世界學術進步の現勢を以て之を觀れば其時機尙早に似たり況や嗣同在世當時の支那に於てやと嗣同少にして算學を治め其造詣頗る深く亦所謂格致の洋書を遍讀し當時に有せるあらゆる科學を以て盡く之を應用せり又佛教の唯識宗華嚴宗を治め之を用ひて思想の基礎となし更に之に通乎大同の義を用ひて以て世法の極軌とし之に通ずるに佛教を以てせり

嗣同の書蓋し其資を此三部分に取り之を組織するに已れの意見を立てたるものにして其難駁幼稚の所論頗る多きは固より諱むべきなきも其盡く舊思想の束縛を脱し憂々として獨創の見地に立てるは前清一代未だ其比倫なし嗣同は根本的に尊古の觀念を排斥せり嘗て

古而可好、則何必爲今之人哉 (學卷上) といひ支那の歴史に一總批評を下し得く 二千年來之政、秦政也、皆大盜也、二千年來之學、荀學也、皆鄉愿也、惟大盜利用鄉愿、惟鄉愿工媚大盜 (學卷下) 當時譚嗣同梁啟超夏曾佑等一派の論調は略ぼ之を以て基本となし就中嗣同尤も勇悍なりき

仁學の所謂衝決網羅なるもの全書皆是れにして一篇茲に擧ぐ可らず即ち

人爲惡也 此等所論は詭辯に近し雖然其懷疑の精神解放の勇氣は之を譽すべし 仁學の下篇には政治論多く首として國家の起原及民主主義を論せり是れ實に當時譚梁一派の根本信條にして殉教的精神を以て其傳播を力圖せるもの今より之を觀れば其所論極めて平庸にして且つ疏闊なるも當時の彼等尙未だルソーの民約論を悉く知らざるなり而も其理想は頗る多く之を暗合し思想解放の効之に劣らずとせざる可らず

天下爲君主私產、不如今日……然天下有知遠金元清之罪、浮於前此君主者乎、其土則穢壤也、其人則賤種中、其心則禽心也、其俗則殘虐也、退其凶殺淫殺、攫中原子玉帛……猶其爲未廢鋼其耳目、枉其手足、磨其心思挫其氣節……方其曰此食毛踐土之分然也、夫果誰論誰之毛、誰之士

又曰く 吾華人憤母言華盛頓掌破甌矣、志士仁人、求爲陳涉楊玄感、以供軍人之驅除、死無憾焉、若機無可乘、則莫苦爲任俠(暗殺)亦足以伸民氣倡勇敢之風 此等の言論之を竹帛に著はせる實に同盟會光復會等の起る十五六年前の昔なりき 仁學の政論は之を世界主義に歸す某仁者に曰く 春秋大一統義、天地間不常有國也 不惟發願於本國、並被強盛之西國與夫合生之類、一切皆度之……不可自言爲某國人、當平視萬國、皆其國、皆其民 篇中此種の所論一にして足らず皆當時今文學派の日に倡道せる所のものなり其後啓超日本に居し漸く歐日の俗論に染まりて盛に偏狹なる國家主義を倡へたるは誠に仁友に報然たるものあり嗣同難に死するや其年僅に三十三彼に假すに年齒を以てすれば其學進む所恐らく止む所なかりしならん僅に此一卷を留め萬丈の光茫を吐き一瞥して逝く雖然其掃蕩廓清の力や極めて鉅大なり故に吾輩彼を彗星に比す

▲資本金 壹千萬圓 ▲本店 北京 ▲上海支店 江西路南京路北入

中華滙業銀行 電話支配人席中一九四六 番號二般營業部中一九四一

爲替、預金、貸付其他一般銀行業務精々勉強可仕候付御引立の程奉願上候

日本に亡命するや西籍を涉獵し新知を以て舊學に附益し日に益々咆哮せり其小學を治むるや音韻を以て其骨子とし文字先づ聲あり然る後形ありと稱し文字の創造及其學乳音音を以て考訂し其著文始及國故論衡中に於て文字音韻を論せる諸篇は其精義乾嘉諸儒の未だ發明せざる所多く正統派の研究法を應用して其内容を廓清し其新徑路を開延せるは實に彼の大成功なりとこ彼の佛學を用ひて老莊を解ける極めて理致あり其著齊物論釋時に牽合の爲に一統新統を關けるものなり其漢微言は造詣極めて多く其他國故論衡檢論文錄等諸篇は純駁雜然嘗て自ら其治學進化の迹を述べて曰く

少時治經、謹守樸學、所疏通證明者、在文字器數之間、雖嘗博觀諸

俗論に染まりて盛に偏狹なる國家主義を倡へたるは誠に仁友に報然たるものあり嗣同難に死するや其年僅に三十三彼に假すに年齒を以てすれば其學進む所恐らく止む所なかりしならん僅に此一卷を留め萬丈の光茫を吐き一瞥して逝く雖然其掃蕩廓清の力や極めて鉅大なり故に吾輩彼を彗星に比す

鈴木木商店 上海支店 九江路三三三號 電話 二二三 中中 二二三 三三三 六七八 番番番 本店 東京 支店 漢口、天津、京城

上海印刷株式會社 印刷、製本及紙器製造

堀井膽寫堂 上海河南路七七、七八 電話(中央參參貳〇)

Shanghai Press, Ltd. 上海印刷株式會社 電話 三一九六 號三十一路而克司赫

子、略識微言、亦隨隨聲聳耳……繼聞佛敎、涉獵華嚴法華涅槃諸經、義解漸深、卒未窺其究竟、及因鑒上海、專修慈氏世觀之書、此一術也、以分析名相始末以排遺名相終、從入人途與平生樸學相似、易於契機

講說許書、一旦解癥、的然見語言文字本原、於是初爲文始……由是所見與龔疏瑣碎者殊矣

物諸生說莊子、旦夕比度、遂有所得、端居深觀而釋濟物、乃與瑜珈華嚴相會

自揣平生學術、始則輕俗成眞、終乃回真向俗……秦漢以來、依違於彼是之間、局促於一曲之內未嘗略思也(利濟徵言卷末)

此言必らずしも溢美に非らず、蓋し炳麟中年以後得る所固より清學のみに止まらず、其近年來の學界に影響を予たへる亦極めて甚大なり、雖然炳麟家護守の積習極めて深きが故に門戶の見時に免る能はず其小學を治めて、鐘鼎文龜甲文を排斥し、經學を治めて今文學を排斥せる、其言常に適當なるを免れず、而して思想の解放に對する勇斷に至りては炳麟或は今文學に如かざるなり

學生の米國派遣告明の徐元啓、李之藻等の廣く算學天文水利の諸書を繙譯せるは實に歐書輸入の嚆矢にして、前清の學術頗る其影響を被れるも其範圍は僅に天算に限られたり、鴉片戰爭以後漸く外患に怵れ、洪楊の役外力を借りて國難を平定せるより益々西人の船艦猛烈に震駭し、遂に上海製造局の設立となり、廣方官館を附設し、京師亦同文館を設け、又學生米國派遣の舉あり、而して其目的は專ら通譯の材を養ふに在り、而して學生の思量亦幾んど之を逾へざりしが故に數十年間思想界には何等の變化をも予へざりき、雖然製造局の譯

本中科學の書三十種あり、李善蘭、華蘅芳趙仲頤、其譯任に當り、其何れも學に根柢あり、且つ其所譯の書に對し學なる責任と濃厚なる興致を待せるが故に其成績の佳良なしは之を明の徐李に比すべく、教の支那に在る者譯書亦妙からず光年間所謂新學家に於て識を域外索めんとせざる者は皆何れも之を枕中の鴻臚とせざるは蓋し學問の飢茲に至りて極まれり甲午の戰大敗終りて、舉國震動し、年少銳銳の志に切齒腕腕以て維新の變法をび、疆吏李鴻章張之洞等亦密に之和せり、而して其モットは國學體とせし洋學を用ゐざるものにして之謂最も之を稱道し、舉國以て至せり蓋し當時の人造測量星運輪兵の外國米人に其他の學問あるをらざりき、而して譯出せる洋書中之を索むるも亦其他の學術に關す

金銀相場變動の爲め日滿鮮地方本誌讀料は一ヶ年金十圓一圓申受け居り候處本月より一ヶ年金八圓に値下げ致間此段謹告候也

五月一日

春申社

ものなかりき、康有爲梁啓超譚嗣同等即ち斯しの如き學問飢饉の環境中に生育し、冥想思索以て一種不支文西即支即西の新學派を構成せんとせざるも既に時代の容る所にならず、蓋し固く舊思想爲根柢に深く、外來の新思想は即ち來源抵抗かして細かく裂けるは亦已むを得ざる情勢なり

戊戌の政變に嗣ぎて庚子の拳禍あり清室の衰微益々暴露し靑年學者相率ひて海外に學を求め就中近接せる日本の留學殊に多く譯述の業亦之に隨ひ千寶癸卯の間に盛に於て定期新書出づれば直に之を譯出せる者動たり雖然數人新思想の輸入超濤に輸めしに組織なく譯擇なく本末具はら

す別亦明らかならず惟だ多きをを  
に貴しとなく社會亦之を厭ひて草根  
の皮肉な腐鼠に甘じて食を索め其之の  
味喰ふや菜頭大腸消化不消化を問は  
會致所非否やに至つては固より更に問  
其所以に非ざるが如し雖然實は之の  
獨り候官の嚴復ありハックスレーの  
天演論ミスマデンの原富ボールロ  
子の名學都已權界論トキス名  
の法意スベンサーの郡學肄言エ  
を譯出する其年數は舊書に屬し時勢  
を去ること頗る遠しと雖西洋留學生  
本國思想界之間に關係を結合あ  
しめたは嚴復を始めとする亦林野あ  
小説百數の種を譯出し頗る一時に民  
衆も其所譯何れ  
歐洲二三流の作にして且つ林紓書  
と桐城派の古文を治め一書を譯すと  
毎に輿もすれば因文見道の癖あり每  
思想に與する所ない晚清西洋思想の  
動に最も大なる不幸事に殆んど西洋  
留學生の全體が未だ嘗て此運動に參  
加せず

運動の原動力中堅は却て西洋の言  
交に通せざる人々に在りし事はなかな  
け故に其能力限りあり権版破碎統緒  
淺薄錯誤誤解得て免る能はず運動二  
十年の久しきに亘りて卒に一建實の  
基礎を得る能はず屢々落ら頗る社會  
に輕んぜられたり此點に就て論ずる  
は時書との西洋留學生は國家に背ける  
所歟からずと言ふべきなら而して所謂  
新學の失敗せる所以又更に一總概  
謂あり學問を以て目的とせすして手  
段とせる事是れなり時に利祿を以て  
天下を爭ひ學校は一種變名の科  
擧にして新學亦一種變質の八股に過  
ぎざりき學子の求學者十中八九之に  
趨り其動機既に純潔ならず磚を捨て  
門をく敵の類既に門に入れば磚は棄  
てられて復た學業を顧みず其劣等者  
は勿論其優秀者を以てしても亦致用  
を以て其信條となし殊に學問の物たる  
の致用の意味を離れて獨立生存する  
を知らず

(未完)

**支那時事日誌**

(金) 四月二十二日  
支那政府は米、和、伊、瑞、ブラツセル駐の支那公使を事務打合せの爲め歸國を命ぜり。二十一日の閣議を以て濟寧開埠につき山東軍と打合せることへ決せり。  
ユリオンは本日外交部に出頭し通商條約にき公文を渡したる近く正式談判となるべし。  
顏惠慶は外國公使希望なりと京鐵線開通。  
王占元は本日北上の旨聲明す。  
四月二十三(土)  
曹錕互に下らずとの報至る。  
馮自由何天明は樺州は月餘を以て隔れ得たと外直に進行すべしとの報至る。  
外交部は日本人の淮北鹽運送に携はることに上り既に決定す。  
新は本日天津に赴けり。  
王占元は本日午後十時天津へ。  
晉張は國會選舉に對し積極的に進行すべしとの報至る。  
吳佩孚余を河南晉軍にせよと云ふものありには余に隔れるものなり、趙督は人の愛戴する所なりと打電せり。  
馬福祥は陝西晉軍に任ずることは王占元の利着を俟つて決定すと。  
河南第一第二の混成旅は遠からず裁汰さるべし。  
顧維鈞はエル曼を偏めて黃河鐵道技師とする件に近日調印すべく電託は六月甲上海着となんし急爲替金を送れと代わ告ぐりと。  
周齊保は仍然職を保つことなるべしと。  
本中國銀行株主會あり二十五日より新株募集に決せり。  
四月二十五(月)  
王占元は本日曹の午餐會に臨めり。  
日本の益世報は英國の西藏に於ける日本の南滿以上なりと報せり。

▲支那政府の駐外公使召還は山東問題協議のため延期なり  
 ▲本日歸京すべかりし新は歸京を延期したり  
 ▲全國銀行大會は五日一日に決定せり  
 ▲張作霖は吳佩孚船隻移轉の不安定の公明及碼頭  
 出港にんことを要求せり  
 ▲借款し永定河水力電氣を籌むべしと  
 ▲孫文は海陸軍を統一革命必勝を説きたり  
 四月二十六日  
 ▲段祺瑞は中日工業公司に向つて二千五百萬萬  
 借款し其期限満了に催促を受け責任を負ふべしと  
 子割銀をんせり、財政部員の勸告によらずして  
 て思ひ留まらざり  
 ▲徐世昌は陳寶箴を天津に派して三巡閱使の  
 京を促がせり  
 ▲齊燮元は孫文電計を電請せり  
 ▲曹錕王新正征撫方針を決定せり  
 ▲王占元は張勳方計訪問を受け講絶せり  
 ▲交通系長程長勢動機は實現せざるべしと  
 ▲本日ユリシンは外交部を訪ひたり  
 ▲米公司後任はボーペン、ロバート氏なるべし  
 ▲湖南には、部軍隊の裁撤を執行すべしと  
 ▲軍政府は湘南、湘黔、湘三路軍司令に任命せり  
 四月二十七日  
 ▲海軍監獄司令第一第二總隊司令は本日張曹王  
 か訪問せり  
 ▲武漢橋樑聯合會は五月五日開催すべしと  
 ▲昨日ユリシン訪問あり不日正式に回答すべし  
 と  
 ▲昨日公使館に會議を開き支那政府の露人財産  
 侵害を議し近く抗議を申込むべしと  
 ▲支那年報鐵道技師は渡米決定を旨打電せり  
 ▲新は顧品珍を援助するに決定せり  
 ▲天津會議は征庫方略、吳佩孚、河南督軍とす  
 るに決せり  
 ▲王占元は蒙元派を訪ひ拒絶し賠償せしむべしと  
 ▲馬福祥は曹錕等に對し甘肅督軍を運動中なり  
 ▲孫文は總統就職權に忙し  
 四月二十八日  
 ▲天津會議は纏まらず、新は歸京せず  
 ▲孫文津滬交通は昨日附、附は各省官署名の  
 上發せり  
 ▲陸海軍總司令は給與費四月分を渡の窮狀を徐  
 世昌に打電せり徐は一ヶ月分を給するを以て  
 銀額すべしと返電せり  
 ▲施肇基は支那邊境につき國際條約を爲すべし  
 と打電せり  
 ▲周自齊の辭職は本日略に決定後任を定むるこ  
 とせり  
 ▲本日東京朝日は文學者藝術家の流亡多きを  
 國家の度事と社論せり

火災 明治 東京 日本  
 共同 横濱 千代田  
 神戶海上 大正海上  
 海上 大正海上 火災保險會社  
 大正海上 火災保險會社  
 東京海上 火災保險會社  
 共同 火災保險會社  
 生命保險 明治生命保險會社  
 海難救助作業

東京サルージ株式會社  
 上海代理店

三井洋行

（電話中四九九〇番）

申込所 山口商店  
 電話【北四五九夜間兼用  
 【北二三九七

火災 明治 東京 日本  
 共同 横濱 千代田  
 神戶海上 大正海上  
 海上 大正海上 火災保險會社  
 大正海上 火災保險會社  
 東京海上 火災保險會社  
 共同 火災保險會社  
 生命保險 明治生命保險會社  
 海難救助作業

東京サルージ株式會社  
 上海代理店

アサヒビール



代理店 上海三井洋行  
 電話中四九九〇番

上海文路第一號  
 山口商店  
 （電話北五四四）



米國視察團

米國視察團全體は今同支那綿業代表團の渡米についで歓迎せしが之を機として渡支視察團の舉るに至りし事は上海絲業總公所に對し已に渡米視察團より電告ありたり然るに米視察團は已にワナナ號にて去月二十七日着滬せり在上海絲業各團體は萬國歡迎會に加入するが獨立して歡迎會を開くが總理沈聯芳は正に同業者の意見を徴しつつあり

滬滬自動車

吳淞上海間長途自動車公司是王業に接したる已に資本六十餘萬元を集め路線の築造することし上海海寶山兩縣に出願せるが五月初より工事着手すべし

支獨通商活動

獨支通商は將に事實とならんとし已に獨貨の支那に來るもの日に多く支那貨の獨逸に輸出さる者亦日に少からざるが食料品中麵粉糖果生乳は少量なり獨貨の主要品は染料、鉚化學機械材料製造品等にして上海中獨逸より輸入されし染料は四千二百餘ガロンに達し機械は六萬八千兩に値し縫針は五十萬個なり

失業游民處置令

上海軍警行政公署は江蘇省令に接したる其本は内務部の達示によるものにして總統府は總統の覺書を交付せられたる勞務廳の廣東に於ける勞動は主官部に命じ調査しに於て亂源を明かにすべからず云ふにあり此際飢饉及兵匪紛擾し失業游民多ければ煽惑を受け易し各機關は格外に注意すべく須らく安當に細密に處置法を講じ呈復に便せられたる云々

絲繭最近の市況

目下新舊交代の際米國向の活動あるを除き其餘の各國向は少なきが上海某洋行は市價を起すに打電したるが大平洋線切斷され返電なし故に

眞の市況は此返電を俟つて定まるべしと去月廿六日其絲商は金山大生繭行の金山乾繭二百金ビクルを購へり其價百五十七兩兩價は中等なり

所得稅反對の聲

大東門北城民國路、東北城邑廟前等處の商業聯合會は、過日夜聯席會議を開き凌仲侯を主席とし印紙稅の增加及所得稅の實行に反對する事を經議し縣商會に向つて轉じて財政部に取消を請はしむることを決議し散會せり

復辟謠言禁止令

上海道尹公署は江蘇民政官の令に接したる其内容は近頃無賴の黨を外に在りて復辟を揚言し人心擾亂を希圖す若し查禁せざれば殊に治安に害あり軍警に通告すると共に一體に查禁を達示すべし云ふに在り王道尹に直ちに一般に通告を發したり

フブリピン華僑問題

フブリピン華僑代表は廿五日歸滬を以て其人の言によれば北京天津方面の各團體は皆賛成し外人方面も皆華僑の爲め援助する傾向あり云々へ渡米して交渉する考へなり云々

殖邊銀行債權者會議

西姚家弄殖邊銀行債權者會議は近日上海總商會より上海殖邊銀行は清理の希望ありとの通告に接したるより新股籌備處宣言等を送附されたるに二十八日債權者の重なる者を召集して茶話會を開きたるが多數は官書内辦法に不滿に在りて舊債の償還を以て舊債を償還せんとするは毫

も現銀にて支拂はんとするものにあつた又た償還の期限無しと更に五月一日會議を開き對策を研究することに決せり

ボトロフ米運

華俄通信社駐支經理エーホルツは社員薛振岳を伴ひ二十六日北京より上海に來りアムストル、ハウスに投じ聲望ある支那人等を訪問して意見の交換を行ひ居れるが當地滞在は約一週間の豫定なり

職業女子聯修會成立

上海に於ける支那人の職業女子は崑山路女青年會内に職業女子聯修會と稱する一俱樂部を組織し二十八日午後五時半正式成立會を開きたる吳淞の省立水產學校は開校當時漁撈製造養殖の三科を設くることとなり居たるも養殖の科は教師たるに至らざりしが民國六年同校第一回卒業生陳椿霖陳謀瑛の二人は三年間の學業を終へ此程歸國したるを以て今秋より養殖科を設置し學生を募集することとなり

工商聯合會の發起

上海南北市各工廠主任は商界と聯絡し相互に維持して發展を期する爲め英租界浙江路に適當の會所を定め中國工商聯合會を組織せんこと目下其の準備中なるが近日中に成立大會

南京軍械局の整頓

江蘇督軍齊燮元は南京軍械局に就き北京陸軍部に交渉して上海工廠會所成瑞國を南京に招くこととなり二十八日成出迎への爲め當地に人を派し來れり

鐵工の賃金値上げ要求

上海支那人鐵工業職工等は昨年夏に賃金を一百元以上は騰貴の際賃金値上を要求し雇主等は一人に付き一ヶ月一元五角の割増しに與へたるも秋冬の頃新米上市して米價下落せるに因り割増を撤廢平常に復したるが近頃に至り米價は又十元を唱ふるに至りたるより再び値上げを要求せんとて前日大南門外某茶館にて集議したり

糖と白蠟市況

夏歷清明節以來各種糖市は太古の車糖が英國に販路あり下落せる外其青赤等の糖は非常に呆滯し價進まず其二十七日大里恩版は十二兩四兩、南規は十二兩、北市廣區呂青は六兩八仙に下落せる、糖市は秋にならざれば轉圓の見込なし、四川白蠟は來源絶たざるに適洋商買進する爲め在荷日に多く市價大に下落し二十七日米心は三四兩落ち百十六兩、統占百二十兩なり

遠東運動會の會場は工部局より從前通り新公園を許可せらるる事となり其期間は五月三十日より六月四日迄この條件は一九一四年借用せし通りとする事となり

交通大學

徐家匯南洋大學を交通大學と改めたる爲め九月より土木科を唐山に移し唐山機械專科を合併することとなりしにつき唐山機械科三四年生は反對し交通部に申込みたり

交易所株の暴騰

近來上海各業の交易所は日に多く營業は物品と證券及麵粉を推すが之がコミッションは日に二三元に達し株券の價は爲めに額面に比し三四倍の多きに達し二十七日の株は四五元より十餘元に暴騰し物品交易所株は六十元雜糧株は五十七元二十仙農商部は各交易所の許可證に對しては既開未開に論じ給與せらるる事とせざるが本年交易は一業一縣一處所となり已に數家あり政府は如何に處分するかは不明なり

庫倫と麵粉

上海は近日麵粉輸出大に活動し毎日約萬余包を積出す姿に在るが其仕向地は日本を以て最大とし芝罘、天津、香港、に次ぐ該業者の言によれば近來の麵粉輸出俄かに盛んとな

營業種目  
葉煙草、洋紙、雜貨、其他一般輸出入業埃及メロコニアン煙草會社代理店  
上海黃浦路三十一號



株式 伊藤商行  
會社  
電話 二五九〇  
三三〇九

支店及出張所  
漢口、九江、廣東、香港、臺北、京城、大坂、東京、

資本金 貳千萬圓  
營業科目 各種事業ノ調査設計  
營業及引受各種事業ニ對スル直接間接投資

東亞興業株式會社  
上海出張所  
上海九江路第五號  
電話中 一九九五番



日本棉花株式會社  
上海支店

支店及出張所  
大坂船場、名古屋、東京、橫濱、神戸、大連、營口、鐵嶺、開原、長春、哈爾濱、上海、漢口、天津、青島、香港、孟買、甲谷院、蘭貢カラチ、紐育、保都、シヤトル、ブニノスアリス、佛國アール

本社 東京市麴町區八重洲一丁目  
出張所 北京、漢口、上海

諸藥品、織機  
絹綿布、雜貨  
輸出入貿易  
上海河南路八號  
株式 東亞公司  
會社  
電話中央 一七三四  
四一二六

りしは全く庫倫の露軍需要に加ふるに歐洲各地で支那粉に毒なしと證明せるに由る一週中日本に五六萬包は皆歐洲行に於て二十九日亦一萬五千包を積出す事となり招商局新庫倫の一萬八千五百包は天津に向け庫倫に送り露軍に供給するものに係る

禁止令を發したるが上海縣公署も二十八日労働者の集合禁止令を發したるは上海軍警各機關に於て露國過激派アリソン等が當日武昌路某會社の祝賀會を開かんご工黨首領張某陳某曹某等を交渉成熟せし密報を得各署に取締方を通告せり

普通に於て前定一元六十仙左右なり洞庭の東西兩山は目下解化稍遅れ別に消息なし

米價問題 二十五日上海北米市價は又二十仙上り九元八八仙となり南市は九元七仙となり滬海道尹は二十五日各縣知事に對し米價の状況を報告せよと命じ上海縣知事は各分區署に對し不法の徒あり檢米の風潮も甚だしく米價の趨勢を對し又江蘇公署民運部等には二十五日王省長に對し米穀の輸出禁止方を嚴にせんことを請願する電文を發せり

救國十人團の緊急會議 密波の救國十人團及び各校學生が日貨調査の爲め支那人に嚴打が負傷したる事件に就き救國十人團聯合會は二十八日夜佛租界南陽里の同聯合會にて緊急會議を召集し左の如く決定せり

過激派擾亂防衛 上海軍政各機關が軍民兩長より得たる密令によれば京師憲兵司令部は駐滬密探より近來過激派の勢力漸次江蘇流域に侵入し新思潮の傳播も屢次の政變を藉りて口實とし滬上りが露國過激派コソフ等は浦陽より上海に來り寶昌路及び虹口一帶に住居し支那過激派沈某等と秘密に圖謀し支那の動搖する時を待ち先づ交通會社を第一として擾亂せんとする者頗る多しとの事なれば充分に警戒すべしといふ

米商の地稅改良 上海總商會は毛革改良會の公文に接せり即ち米國シカゴ總商會の通告書によれば米國總商は支那上等穀に満足し購買の時毛毯の製造染料の選擇國式の規定及其模様等は詳細に定めた結果此満足ありし所以なりとて毛革に對する今後の改良に關する詳細なる注意を與へたるものなり

留佛僑學生の提議 江蘇議員吳鴻勳は留佛僑學生の困難の境に在るを遺憾とし文明の區に在るく江蘇は此際救済の事に從はざるべしと省長に本年年度の預算より若干を爲替し以て焦眉を救ひ本年度の預算に常年補助費を出し青年の教育を宏ふよと提議せり

上海兵工廠經費の困難 上海兵工廠は陸軍部より經費支給停滯以來經費非常困難に於て昨年未迄停滯額百七十餘萬に達し廠長謝邦清は之が支給要求の爲め上京したるが謝廠長は最近に亦陸軍部に對し經費を支給せられれば全工廠の炊煙の外なしと打電し並に一部の機械を各種商用機械及び鋼鐵材料に改め商業經營を試みんとすの意向ありといふ

各地警況 立夏節近き各地の糞桑は正に開始され上海絲綢總公所は本週に至り各地よりの報告に接したる杭州より報告に接し石川門百余里内は初報中に於て蠶身佳なり桑葉は發芽の際青虫に襲はれ小は二分大は八分大の打撃なり故に葉代は一元六十仙より忽ち三元五十仙となり預算では毎斤六十仙を要すといふ云ふが繭屋は多く五五十仙を出すと定めて害ありしを之を杭州地方に比すれば少なりと云ふ今兩日初報に在り葉價亦三仙内外なり紹興地方は稍早や初眠已に過ぎ桑葉に被害なしと云ふ抗州地方の影響を蒙り桑葉三仙七十八仙に上り江蘇屬の無錫常州宜興仙に地方は初眠に近づき蠶身強壯にして昨年よりも活潑なり桑葉の價は

上海製麵粉は近日輸出大に活動し毎日約萬餘俵に達し海關は護照を發するに忙しき程なりが國內の販路も順調なり天津、廣東、汕頭等は連日買進み麩皮の販路も亦好し麵粉交市場株實は甚だしく市價は騰貴せり

世界時局と支那 中華新報(四、二六)北に陝西問題あり南に廣東の兵變あり支那滅裂せる時世界の政治舞台は活潑し直捷に米國に影響せざるは今日注意すべきは米國の世界地位に在る一諸者の行動なり、國際關係に反對せる後支那問題出でたり英佛は皆米國援助を表示し佛國最も甚だし現にワイタニヤは渡米せる程なり是は對露問題につき米國の好意を求めざるべからざる事情の爲めならん又米國今後の外交は多量の捕提すべからざるあり已に明瞭なるもの三要素あり第一は甚だ合理的の根據に非れん第二は獨力助ける第二は輕くし露國と通商せず第三は極東問題に緩ふべし此三者は現世界政局の鎖鑰あり獨力に當り米を頼む米に拒絶せる一線の望は合理的の一致を以て佛の調停を望めば如し此に佛國の態度は窺はる極東問題に至りては一言之を蔽へば日米の暗闘あり而して其第一は日英問題然り英之を經緯すべく日米衝突の満洲中に入らざるべし日本はヤブ問題によりて恥を感じて之を奈何とすなく二十ヶ條の高壓手段を用ひるべからざるべし世界政局は急々極東に波及し全國民は一團となり其國家の地位を發展せざるべからず極東の主體として何の結論あり

THE KAMIYA TRADING Co., Ltd.

營業 棉花 棉糸布、雜設肥料、製油原料、砂糖、機械、雜貨、陶器

種目 貨物

上海泗涇路九號

神谷商事株式會社上海支店

電話 中三八七五

支店 東京市日本橋區本石町三丁目 大阪、神戸、名古屋、上海、漢口

C. ITOH & Co.

紅 伊藤洋行

營業種目 輸入 綿糸、綿布、雜貨、金油、機械、染料、輸出 棉花、雜設肥料、脂屬、麻、絹綿麻布、五金

上海漢口路五號

電話 支店 上海漢口路五號 支店 上海漢口路五號 支店 上海漢口路五號

勞働紀念日開會禁止 五月一日は世界勞働紀念日にて上海の支那人勞働者等も當日開會せり

商船學校實地排下要求 吳淞商船學校の官有地七十四畝二分二厘は海軍部より交通部の管轄に移されたるが吳淞商埠料辦張某は同校は空地多き爲め其の空地を完全し商埠局の收用に歸し公園及び碼頭倉庫を建築せんとて交通部に對し交渉し居れり

麵粉活躍 上海製麵粉は近日輸出大に活動し毎日約萬餘俵に達し海關は護照を發するに忙しき程なりが國內の販路も順調なり天津、廣東、汕頭等は連日買進み麩皮の販路も亦好し麵粉交市場株實は甚だしく市價は騰貴せり

天津會議(新聞報(四、二七)) 天津會議は庫倫征伐と云ふ對案を決定せりといふも吾人より之を見れば未解決と同じ何となれば此二事を解決するに財力と兵を要するに拘り確定經濟の法を定まなければなり一時諸閣の難たる會合何の妙案あり

中國工商株式會社

(香港路) A六號

支店 上海中環四七三〇 支店 上海中環四七三〇 支店 上海中環四七三〇

高麗參丸

朝鮮總督府 賣賣局所管

人參の精粹、使用に便、携帯に便

本劑は朝鮮人參、其の粉、調製せり

効力頗る強大

事務家、旅行者、日常の攜帶、使用に良し

大瓶 百粒入(六日分) 大洋七角

小瓶 五十粒入(三日分) 大洋四角

到處の有名藥店に販賣す



